

ご意見・ご要望に対する考え方

No	項目	該当ページ	ご意見・ご要望	事務局の考え方
1		-	これまで進めてきた更新にむけての計画を、目的等で重点説明し、現在の実態・状況、今後の構想・計画と流れを踏んで「本市の更新計画」をわかりやすく説明して欲しい。	本年7月に開催する地域別説明会では、ご指摘の点を踏まえ、本計画を分かりやすく説明してまいります。 また、同時期に市ホームページに掲載する予定の説明動画についても分かりやすい説明に努めてまいります。
2		-	学校の施設の更新について、現在の校舎の実態を踏まえ、今後、何を（全体と部分）・どういう目的で・いつ、どれだけの予算で（比較検討できるものは資料に提示）どういう学校を目指す計画か、資料を生かし、わかりやすく説明して欲しい。	学校ごとの更新にあたり、学校関係者や地域住民、保護者による検討組織により、基本計画を作成する予定となっています。その際には、ご指摘の点を踏まえ、分かりやすい説明に努めてまいります。
3	目次	-	第3章2. (1) (3) の小項目間のページ数が多く、もう少し項目を増やしてほしいです。	ご指摘のとおり修正します。
4	計画の目的	P1	計画の目的等の「等」はいらないと思います。「第1章 学校施設更新計画の目的」とされた方が、始まりのページの印象が強くなりすぎるのではないのでしょうか。	ご指摘のとおり修正します。
5	計画の背景	P1	一番大切なポイントだと思うので、写真や図表などを使いもう少し詳しく丁寧に書いてほしいです。	地域別説明会では、ご指摘の点を踏まえ写真や図表を使い、分かりやすい説明に努めてまいります。
6	計画の背景	P1	2行目の“進めてきました”の言葉が気になります。（35年前の話だと思うのですが）	ご指摘のとおり修正します。
7	計画の背景	P1	6行目の予算の話よりも先に、学校教育の話や小中一貫校がなぜ必要なのか、コミュニティスクール等の内容を詳しく説明を加えて（別紙の上尾市学校施設更新計画案に係る意見及び回答のP12の回答のような）、先ずは子供たちの教育が優先されることや、少人数学級を念頭に置いていること、上尾市の子供たちの理想的な教育環境を考えていること付け加えてほしいと思いました。	ご指摘のとおり教育環境整備についての記述を加え、修正します。
8	計画の背景	P1	市民の避難所としても安心できる施設としての更新計画でもあること。	
9	計画の背景	P1	多面的、長期的に俯瞰して深く考えて今を考える計画であること。	地域別説明会では、ご指摘の点を踏まえ、本計画を分かりやすく説明してまいります。
10	計画の背景	P1	予算は限りがあるが、限られた予算で最善を尽くして子供たちに最適な環境を考えていることを付け加えてもらいたいと思います。	
11	計画の背景	P1	緑色の枠内で“まとめ”の言葉が気になります。他の言葉に置き換えてはいかかでしょうか。“要旨” “要約”	ご指摘のとおり修正します。
12	コンセプト	P4	上尾市の更新計画のコンセプトは、「持続可能な教育環境づくり」です。 この文言からSDGs*の取組が連想されますがSDGs*の項目の中でも、環境問題は喫緊を要する課題です。学校施設は、環境負荷の低減や自然との共生を考慮した施設とする必要があります。 計画策定の中で、具体的にどんな内容の協議が行われたか教えてください。	本計画のコンセプト「持続可能な教育環境づくり」は、児童生徒数の減少や建物の老朽化、新たな教育環境や学習方法の変化にも対応しつつ、教育環境の充実と公共施設マネジメントの両面からバランスのとれた学校施設の更新を目指す考え方でございます。 本計画の策定にあたり、教育総務部長を委員長、学校教育部長を副委員長、関係部署の次長・課長級の委員9名による庁内横断の組織を立ち上げ、平成29年度から令和2年度までの期間に合計18回の会議を開催し、基本方針や基本計画の策定に向けて協議して参りました。
13	各校の児童生徒数の推移・推計	P13	図表3-3の学校の配列は何か意味のある順番でしょうか？	地区順に並んでおり、分かりやすいように、表の左側に地区名を追記しました。
14	学校施設の経年状況	P15	施設の実態、例えば、築年数・耐用年数、建築様式（鉄筋コンクリート 鉄骨等）、これまでの修繕内容、保全計画、長寿命化への適否等、市内小中学校の一覧表が欲しい。	別紙資料⑤「市内小中学校校舎耐用年数一覧」のとおり、資料を作成しました。 また、修繕内容については「上尾の教育」に記載がございます。保全計画については、今年度中の策定を目指しています。

No	項目	該当ページ	ご意見・ご要望	事務局の考え方
15	学校規模の適正化	P17	<p>小規模校・大規模校の問題ですが、様々な課題を持つ児童生徒にきめ細かな指導支援を行うには、適正規模の学校、少人数の学級の必要性を強く感じます。それについて、現段階でどのような考えを持って計画してきたか、教えてください。大きな集団は学習活動など多様な学習形態に対応でき、多くの友達や教職員と接することで多様な価値観が生まれるよさなどたくさんあります。</p> <p>しかし、リスクも多くあります。一つ一つの問題について教育的価値を問い直し、本市の教育の方向性を明確にするため、今後の十分な協議、共通理解をお願いするところです。</p>	<p>児童生徒にきめ細やかな指導支援を行うためには、学校規模の適正化は重要な課題と認識しており、令和元年度に策定した基本方針では適正規模の基準を小中学校ともに12学級から18学級としています。</p> <p>少人数学級については、今年度の2年生から順次1学年ずつ拡大して令和7年度に6年生が35人学級になる見通しです。</p> <p>小規模校の解消により、児童生徒の学習や学校活動に影響が生じないよう、再編にあたって十分な協議に努めてまいります。</p>
16	通学区域	P20	<p>通学区域についてですが、通学区域は、地域の状況などを総合的に考えて、今後、各地域の協議により検討していくことだと考えます。適正規模化を進める際には、安全で負担のない通学距離の確保をお願いします。子供を持つ保護者の一番の願いは、1日を無事終えて、元気に「ただいま～」と家に帰ってくることです。子どもの安全が一番です。</p>	<p>適正規模化の協議にあたっては、児童生徒の安心安全や負担軽減を最優先に考え、保護者の理解が得られるよう努めて参ります。</p>
17	通学区域	P20	<p>枠内の徒歩通学の目安は圏内でしょうか？直線距離で2kmは通学路で考えると1.5倍位になるように思います。また、スクールバスの運用についても“子供たちの安心、安全を一番に考える”の言葉を付け加えるだけでも印象は変わると思います。</p>	<p>枠内の徒歩通学の目安は実際の通学路の距離を想定しております。</p> <p>新しい学校づくり優先検討エリア対象校では、学校関係者や地域住民、保護者による検討組織により、再編に向けた基本計画を作成する予定となっています。</p> <p>通学路や通学方法の協議にあたっては、児童生徒の安心安全や負担軽減を最優先に考え、保護者の理解が得られるよう努めて参ります。</p>
18	長寿命化	P22,23	<p>長寿命化が適さない学校が多くあるということですが、(3月議会答弁の中では、中学校全校、小学校15校という回答でほとんどですが。) どういう内容を持って適さないと判断されているのか教えてください。</p> <p>また、先日も説明いただきましたが、長寿命化に取り組んだ場合と、改築する構想で進んだ場合と予算はどのように違ってくるか具体的に教えてください。</p>	<p>コンクリート強度や中性化予測深度の状況を踏まえ、長寿命化の適否を判断しております。</p> <p>長寿命化改修は、既存建物の構造体を使用するため、改築時に実施する構造体の構築工事が不要であり、また、既存建物の取壊しを行わないので、それに掛かる経費と排出される廃棄物量も縮減されるなど、改築に比べて安価で短い工事期間で実施することができます。</p> <p>一般的には、長寿命化に伴う費用は、改築費用の約6割の経費で実施可能とされています。</p>
19	評価結果一覧	P22,23	<p>図表3-13のハード面の①残耐用年数、②劣化度、③耐久性を学校ごとに評価指数を出すことは問題がありますか？具体的に出すことで、各学校の問題が具体的にわかるように思えます。</p>	<p>別紙資料⑥「上尾市学校施設評価シート」のとおりです。</p>
20	複合化	P31	<p>複合化にむけての基本的な考え方を教えてください。複合化により、単独の学校として整備するよりも施設機能の高機能化・多機能化を図ることが出来ます。児童生徒や地域住民に多様な学習環境を創り出すとともに、公共施設を有効的に活用することができます。他市の事例を見ても、夢が膨らむ内容が多くあります。ぜひ、地域を活性化させる計画について、情報を積極的に集め、十分協議していただけたらと思います。複合化に向けて、現在、本市の目玉になるような公共機能と学校の複合化案はありますか。</p>	<p>現段階における複合化案として、学童保育所や保育所の複合化を想定しておりますが、先進的な事例を参考にし、目玉となる複合化案を検討して参ります。</p>
21	学校施設更新全体行程表	P49	<p>更新全体計画表の文字が見えません。再度わかるものをいただきたいと思えます。よろしく願いいたします。</p>	<p>文字が見やすくなるよう工夫します。</p>
22	小中一貫教育	P51	<p>小中一貫校について説明資料を付けていただきありがとうございました。様々な情報について把握し、実際にリスクもあることを理解することが必要だと考えます。小中一貫校の成果だけでなく、実践校から見る新たな課題についても把握してください。将来の学校像について、限られた経費の中で児童生徒にとって最大限意味ある学校にするにはどういう方向をめざすか、将来の学校教育と学校施設の在り方について構想を深めながら、十分協議することをお願いいたします。</p>	<p>小中一貫校の実施にあたっては、先進都市における実施の成果や課題、将来の学校像など中長期的な視点などを踏まえ、十分な協議に努めてまいります。</p>